

意思決定支援に係る手掛かり・ヒアリングシート

平成31年5月 日 ver
第 版
作成者： 第 期

利用者名： 様

望む生活		ご本人の意思：	
望む生活		ご家族の意向：	

基本情報（生活史、学校及び福祉サービス等利用歴（教育・支援経過）等）		生活環境	ADL
生年月日：	<div>生活史</div> <div>(出生時～学齢期)</div> <div>(学齢期以降)</div>	<div>(現在の生活環境、日中の過ごし方)</div> <div>(必要な環境への配慮、医療情報等)</div>	食事：
支援地：			排せつ：
現居住地：			睡眠：
主たる障害：			入浴：
療育手帳：			整容：
その他手帳			更衣：
障害基礎年金：			移動：
その他収入：			起居・移乗：
障害支援区分：			その他：
現在の支援目標		(IADL)	
(サービス等利用計画)		家族関係	食事の準備：
		家族構成（ジェノグラム）	買物：
			掃除：
			洗濯：
			金銭管理：
		主たる家族等氏名・続柄	服薬管理：
		成年後見人の氏名・類型	交通機関の利用：
(個別支援計画)		社会関係図（エコマップ）	電話の使用：
(障害福祉サービス等の利用状況)			書類の記入：
			趣味：
			余暇活動：
			その他：
		友達	

領域別のアセスメント		
手掛かり・ヒアリングエピソード (出生時～学齢期)	好き・喜び・楽しみ	意思能力・表現方法等
(学齢期以降) ※自宅、学校など障害福祉サービス利用時以外のエピソード		主張:
		拒否:
		柔軟性:
		言語的理解:
		視覚的理解:
		表情:
		言語:
		表現: (表情・言語以外)
		コミュニケーション手段:
		言葉等への 反応:
その他:		
※以前利用していた障害福祉サービス利用時のエピソード	嫌い・苦手・不快	
※現在利用している障害福祉サービス利用時のエピソード		
※エピソードが右記のどの項目の根拠となっているかがわかるように、次のとおり文頭に記号(複数の項目の根拠となる場合は複数の記号)を付けてください。 好き・喜び・楽しみ:○、嫌い・苦手・不快:×、意思能力・表現方法等:■ ※スペースが足りない場合は、別紙に記載してください。 上記のことから、推定されるご本人の意思(望む生活)		

意思決定支援に係る手掛かり・ヒアリングシート作成にあたり、以下の点に留意して記載してください。

項 目	留意事項
① 作成者	<ul style="list-style-type: none"> ・ チーム責任者である相談支援専門員（セルフプログラムの場合は、チーム責任者となるサービス管理責任者）が記載してください。 ・ 津久井やまゆり園支援担当職員等、利用者本人の情報を持つチームメンバーが記載しても構いませんが、内容の確認、必要な情報収集、情報整理等は、相談支援専門員が、ストレンジスアセスメントの視点から行ってください。
② 第 版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回作成したヒアリングシートが第何版なのかを記載してください。（例、1 回目の場合は第1 版） ・ 2 回目以降は、前回からの変更箇所が分かるように追記・変更した箇所に下線を引いてください。 ・ 利用者本人の意思確認や担当者会議等の実施のたびに必ず作成（更新）してください。
③ ご本人の意思	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の言葉なのか、会議の中で推定された本人の意思なのかについても記載してください。 ・ 担当者会議等で確認された、あるいは推定された本人の意思（望む生活）について、随時、反映させてください。
④ ご家族の意向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最新の家族の意向を記載してください。
⑤ 主たる障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診断名を記載してください。
⑥ その他手帳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳の取得状況を記載してください。
⑦ その他収入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害厚生年金、障害共済年金、作業収入等を記載してください。
⑧ 現在の支援目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス等利用計画及び個別支援計画で定めた目標を転記してください。
⑨ 生活史	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単なる履歴ではなく、本人の出生時から現在までのどのような生活を送り、今に至っているのかについて、読んでイメージが湧くように記載してください。 <p>※ 例えば、利用者本人のこれまでの生活環境や生活史の状況整理する際は、いつ卒業したのかという情報だけでなく、「利用者が小学校、中学校、高校とどんな生活をしていたのか、何に楽しんで、何に喜んで、何に悲しんでいたか」「どういうものに興味を持って、その興味を持ったのは何故か、興味のあつたのか、入所してどんな表情をしていたのか」「学齢期以降は、それぞれの入所施設でどんな経験をしてきたのか、入所していた施設の資源の概要、その施設の生活の中で何に興味を持って、その興味に対して具体的にどう支援して、その結果どうだったのか、旅行に行ったらどんなことが楽しかったのか」など、その方の生活しているイメージが伝わるよう、十分工夫して記載してください。</p>

⑩ 現在の生活環境、 日中の過ごし方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 項目の表記を変更（「日中の過ごし方」を追加しました）。 ・ 物理的な環境だけではなく、日中どのように過ごしているのか（平日・休日）等も記載してください。
⑪ 必要な環境への 配慮、医療情報等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 項目の表記を変更（「医療情報」を追加しました）。 ・ 本人の障害特性等を考慮し、本人が望む生活を送る場合に必要な生活環境上の配慮を記載してください。 ・ 医療情報（病名、医療的な対応、通院先等）についても記載してください。 ・ 参考資料3を参照して、ジェノグラムを記載ください。
⑫ 家族構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 氏名、類型に加えて、いつから関わっているのか記載してください。
⑬ 成年後見人	
⑭ 社会関係図	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参考資料3を参照して、エコマップを記載してください。 ・ 家族、後見人等の交流状況について、エコマップの中に記載してください（例、月1回面会、年に1回外泊等）。 ・ 「友達」については、氏名ではなく、関係性を記載してください（例、同室の男性、他施設の女性等）。
⑮ IADL	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの項目について、作業工程を細かく見て、本人一人でもどこまでできるのか、どのような支援があれば可能なのか等について記載してください。 <p>（例）買い物：陳列棚からほしい物を選ぶ、レジで物の受け渡しはできるが、支払いは支援員が行う等 洗 濯：支援員が指差しでタンスの場所を示せば片づける、一人で衣類をたたむ等</p> <p>※ 「電話の使用」については、電話だけではなく、スカイプや手紙、メール等の手段による間接的な交流が可能かという視点で記載してください。</p> <p>※ 利用者本人のできることや興味関心のあることを通じて、生活の幅は広がっていきます。これまでの記録やアセスメントシートを基に、利用者本人のできることや興味関心のあるところなどの利用者本人の強み（ストレングス）に力点を置いて再アセスメントし、追記・変更等があれば、随時、更新してください。</p>
⑯ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事件に関する情報について、「受傷の有無」「入院の有無」を記載してください。 ・ 詳細を記載する必要はありませんが、事件当時のご本人の状況等について尋ねられた場合に、説明できるようにしておいてください。

(裏面)

領域別のアセスメント		
手掛かり・ヒアリングエピソード	好き・喜び・楽しみ	意思能力・表現方法等
<div>17</div> <div>(出生時～学齢期)</div> <div>(学齢期以降) ※自宅、学校など障害福祉サービス利用時以外のエピソード</div> <div>※以前利用していた障害福祉サービス利用時のエピソード</div> <div>※現在利用している障害福祉サービス利用時のエピソード</div> <div>※エピソードが右記のどの項目の根拠となっているかがわかるように、次のとおり文頭に記号(複数の項目の根拠となる場合は複数の記号)を付けてください。 好き・喜び・楽しみ: ○、嫌い・苦手・不快: ×、意思能力・表現方法等: ■ ※エピソードが足りない場合は、別紙に記載してください。</div>	<div>18</div>	<div>20</div> <div>主張:</div> <div>拒否:</div> <div>柔軟性:</div> <div>言語的理解:</div> <div>視覚的理解:</div> <div>表情:</div> <div>言語:</div> <div>表現: (表情・言語 以外)</div> <div>コミュニケーション手段:</div> <div>言葉等への 反応:</div> <div>その他:</div>
<div>19</div>	<div>嫌い・苦手・不快</div> <div>19</div>	
<div>21</div> <div>上記のことから、推定されるご本人の意思(望む生活)</div>		

意思決定支援に係る手掛かり・ヒアリングシート作成にあたり、以下の点に留意して記載してください。

項 目	留意事項
①⑦ 手掛かり・ヒアリングエピソード	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒアリングエピソードは、①⑦「好き・喜び・楽しみ」、①⑧「嫌い・苦手・不快」、①⑨「意思能力・表現方法等」の根拠となるものです。より多くのヒアリングエピソードから、利用者の意思表示の方法を理解し、表情、感情、行動から意思の読み取り等を行うようにしてください。 ・ ヒアリングエピソードについては、文頭に記号（○：好き・嫌い・楽しみ、×：嫌い・苦手・不快、■：意思能力・表現方法等）を付して、記載してください。 ・ ヒアリングエピソードは情報が多くなるため、項目ごとに整理・分類し、記載するなどの工夫をしてください。
①⑧ 好き・喜び・楽しみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①⑧ヒアリングエピソードから明らかに本人の「好き・喜び・楽しみ」に関わることを記載してください。
①⑨ 嫌い・苦手・不快	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①⑨ヒアリングエピソードから明らかに本人の「嫌い・苦手・不快」に関わることを記載してください。
②⑩ 意思能力・表現方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①⑩のヒアリングエピソードから明らかに本人の意思能力・表現方法等について記載してください。
②⑪ 上記のことから推定されるご本人の意思（望む生活）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒアリングシートの情報をもとに、担当者会議等で話し合った本人の意思（望む生活）、あるいは、本人からヒアリングした意思（望む生活）について記載してください。 ・ 次に、ヒアリングシートを更新する場合は、ここに記載された内容について、③「ご本人の意思」に反映するようにしてください。

《ヒアリングシート 別紙の使い方》

ヒアリングエピソードが蓄積され、現在、別紙に新たなエピソードを記載していると思います。ヒアリングシートを会議の場で有効に活用するためにも、ヒアリングシート1枚（表・裏面）に最新の情報を集約させたいと考えています。そこで、今後は次のような整理をお願いします。

- ・ ヒアリングシート裏面①⑥に欄に、①⑦、①⑧、①⑨の根拠となる主要なエピソードを整理して記載してください。
- ・ それ以外のエピソードについては、別紙に記載してください。
- ・ 別紙に記載する際は、読み手が読みやすいように、別紙を縦に二段組みにしてください。